

『不当弾圧を粉碎する7.17集会開催』

## 私たちは一人じゃない 全組合員で闘った一年

7.13弾圧から1年、私たちは闘い抜いた！  
弾圧を忘れず、培われた組織力で、  
反弹圧・反処分の闘いを押し進める！！

7/17金山アピタンにて名古屋地本による不当弾圧を粉碎する7.17集会を開催しました。

2007年7月13日に愛知県警公安三課は、マスコミを大動員して、JR東海労名古屋地本事務所など7カ所の不当な家宅捜索を行いました。「規律と忠誠心」「命令と服従」の職場支配を目指す会社と警察が用意周到に準備した弾圧＝「蒲郡駅事件」でした。その後、美世志会の判決・処分と連動し、加藤誠二さんの懲戒解雇と弾圧はすさまじくかけられて一年がたちました。

これに対し私たち東海労は、11.4・5ストライキ、職場においては主任レポート・時系列等報告書作成拒否の闘いで反撃してきました。職場から組合員一人一人が現場管理者と立ち向かった闘いでもありました。私たちはスクラムを組み闘い、今日の地平を切り開いてきました。

この一年、全組合員の奮闘を確認すると共に、JR総連への組織破壊を許さず反処分・反弹圧で闘うことを集会で確認し、その後、金山駅・名古屋駅で労働組合への不当弾圧を許さないピラ配りを行いました。

全組合員の皆さん、加藤さんの職場復帰まで、さらなる闘いに前進しましょう。

